

西東京市新型コロナウイルス感染症に対する対応・取組 (その4)

～感染症の流行期を見据えた対策を図り、地域の安心向上に取り組めます～



令和2年11月



西東京市



～ 今後の感染症の流行に備え、改めて感染拡大防止を徹底しましょう ～

国内で新型コロナウイルス感染症が確認された今年の1月から早くも10か月が経過しました。緊急事態宣言が解除された5月下旬頃には、感染症の収束が見えかけたところでありましたが、残念ながら、再び増加に転じ、東京都内の新規感染者数は、11月に入ってから1日当たり300人を超える事態となっています。

重症患者は、60代から80代の方が中心ですが、40代の方も含まれています。

ヨーロッパやアメリカでは感染者の増加に歯止めがかかっておらず、日本同様に寒い冬を迎えるにあたり、大変憂慮すべき状況にあります。

西東京市の新規感染者数の状況を見ますと、その多くは20代が占めておりますが、40代から60代までの感染者数の割合も一定程度あります。

国の分科会からの提言にありますように「飲酒を伴う懇親会」や「大人数での飲食」、「マスクなしでの会話」、「狭い空間での共同生活」など、感染リスクの高い行動が示されました。

例年この時期には流行し始めるインフルエンザは、今のところ動き出しの気配はございませんが、一度流行いたしますと、瞬く間に感染者が増加し、地域の医療機関をひっ迫させることとなります。

市民の皆様におかれましては、どうか感染リスクが高い行動を控え、感染予防のための基本的な行動（三密回避や手洗いうがいの励行）の徹底をお願いします。あわせて、感染者に対する偏見や差別を生じさせることなく、この困難な状況を皆で乗り越え、まち全体の「健康」を守ってまいりましょう。

令和2年11月

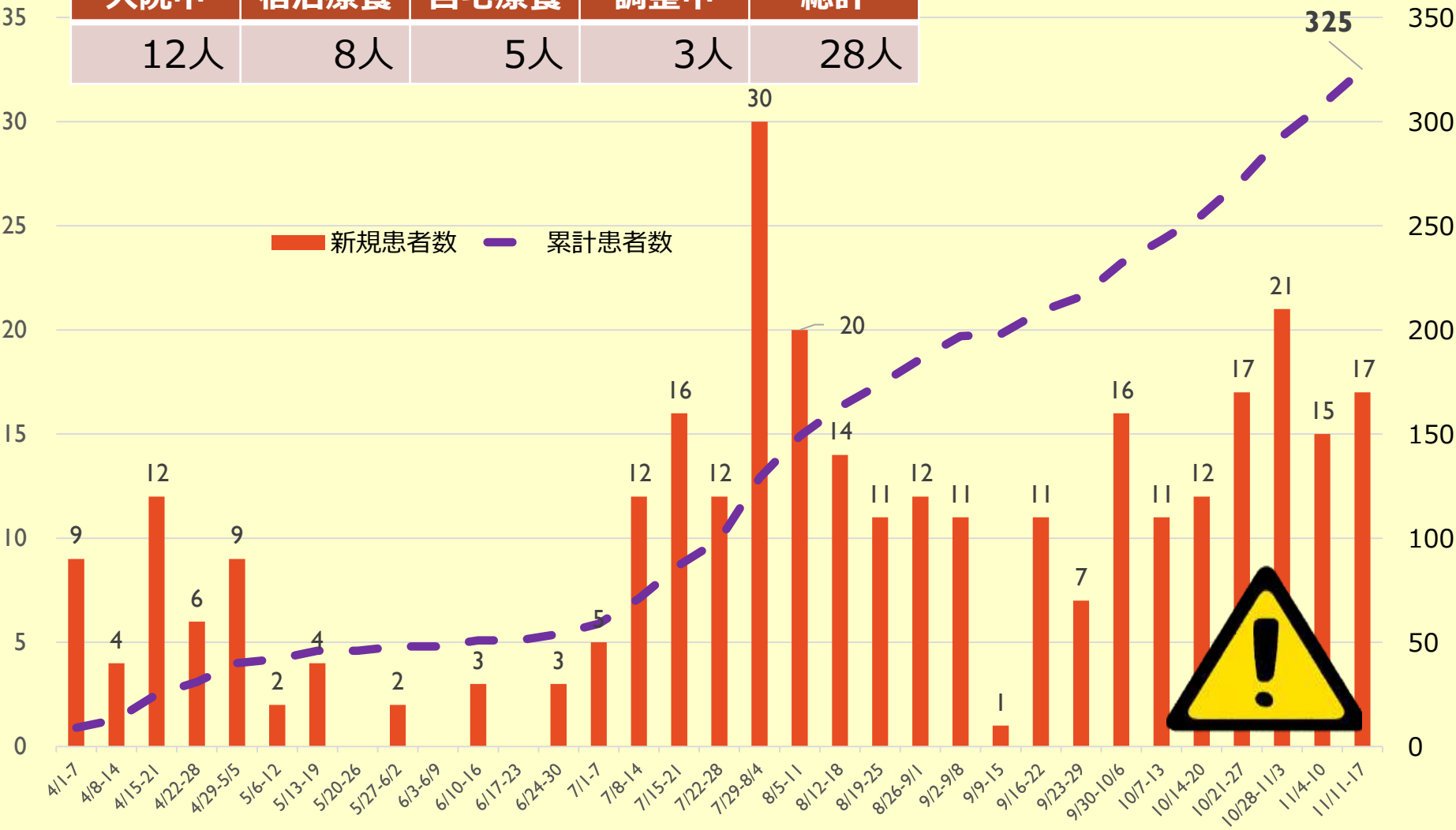
西東京市長 丸山浩一

新型コロナウイルス感染症患者数（西東京市）

療養状況 令和2年11月15日 時点

入院中	宿泊療養	自宅療養	調整中	総計
12人	8人	5人	3人	28人

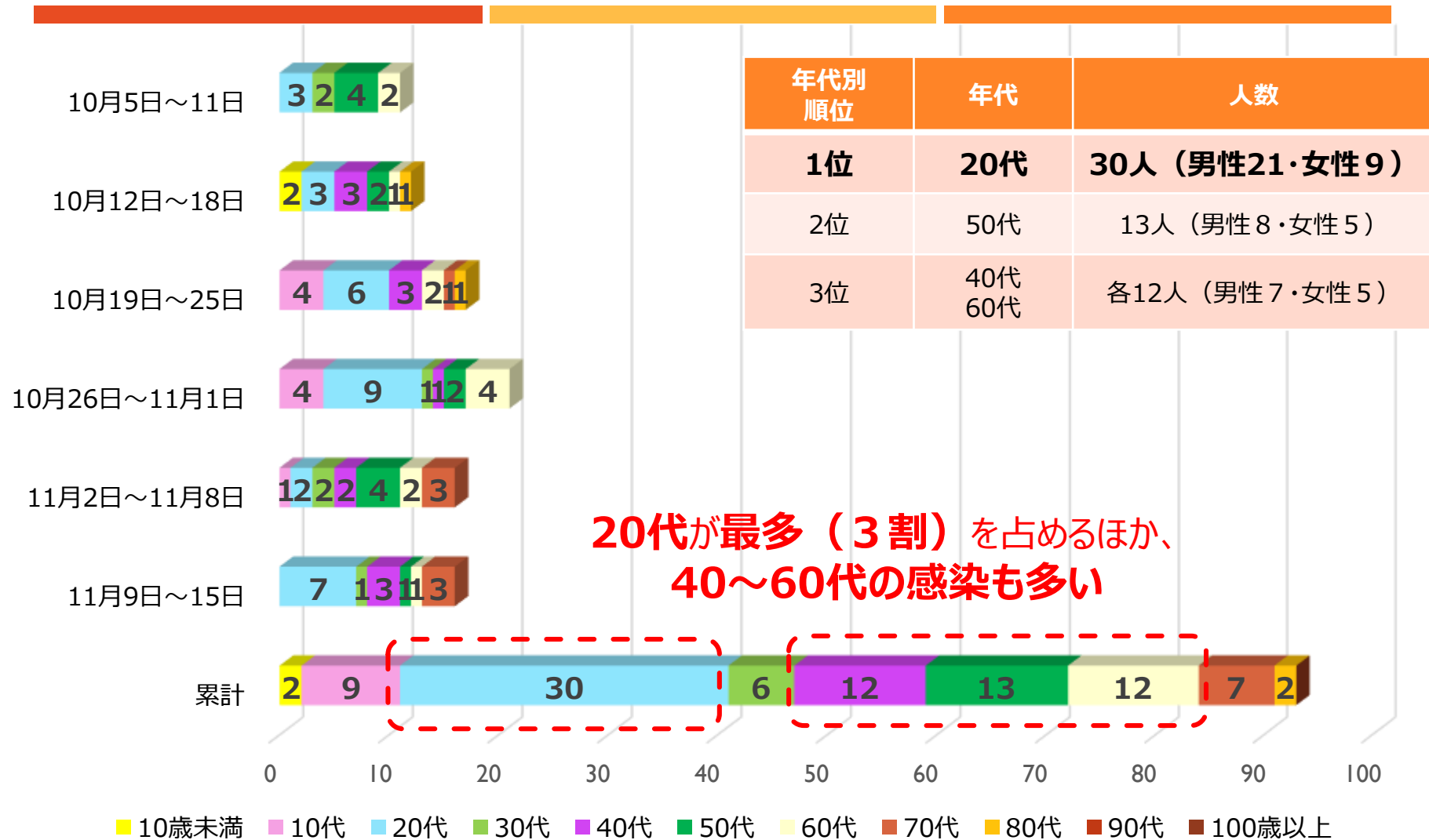
(人)



緊急事態宣言期間 (4月7日~5月25日)

東京都公表日

●新型コロナウイルス感染症 新規感染者 年代別患者数 (西東京市)



新規患者数 (西東京市 10月5日～11月15日)

男性	女性	合計
62人	31人	93人

93人中「**20代男性**」が**21人**

東京都 専門家によるモニタリングコメント・意見 抜粋〈感染状況〉

- ✓ **新規陽性患者数**は、「**大幅な増**」 **週当たり1,400人を超える**。
- ✓ 新規陽性者数は、**20代**が全体の**25.6%**、**30代**が**19.1%**である。
20～40代が全体の61.8%を占める
- ✓ 65歳以上の高齢者の患者数が増加している（全年齢における割合に変化なし）。
- ✓ 濃厚接触者に占める感染経路としては、「**同居人**」からの割合が**40.7%に増加**、次に職場感染が15.2%となっている（会食は10.1% 前週から増加）。
- ✓ 80代を除く、すべての年代で、**同居人からの感染が最も多い状況**
- ✓ **職場、施設、寮などの共同生活や家庭内等**では基本的な予防策（手洗い、マスク着用、3密を避ける）に加えて、テーブルやドアノブ等の消毒によるウイルスの除去等をあらためて徹底すること、あわせて、**こまめな換気を徹底**する必要がある。
- ✓ 新規陽性患者（1,459人）のうち、無症状の陽性者は18.0%（263人）
- ✓ 重症患者数は、前週35人から38人（40代も2人含む）に増加（3人増）



10月以降 市内の新規感染者数が増加傾向にあります。

20歳代が最も多いほか、40歳から60歳代の「働き盛り世代」の感染が多くを占めるようになっており、家庭内感染も増加しているものと思われます。

飲酒を伴う懇親会や、大人数、長時間での飲食、マスクなしでの会話等が感染リスクが高まると言われています。

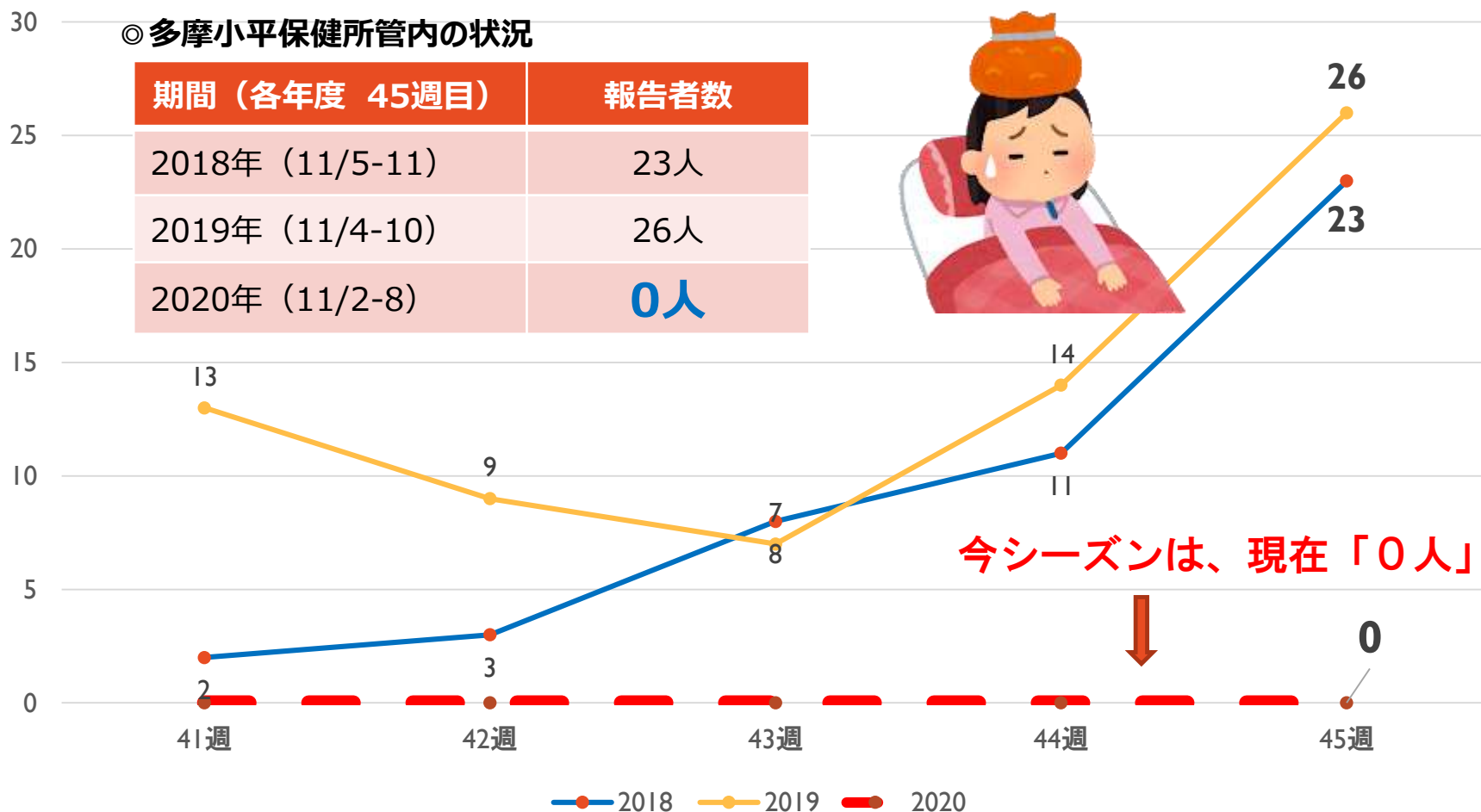
「家庭や職場、学校など自分の身近な環境や人に感染を広げない」よう、十分に気を付けましょう。

参考 インフルエンザの流行状況（多摩小平保健所管内）

定点把握対象疾患（インフルエンザ）報告数

◎多摩小平保健所管内の状況

期間（各年度 45週目）	報告者数
2018年（11/5-11）	23人
2019年（11/4-10）	26人
2020年（11/2-8）	0人



○多摩小平保健所管内定点医療機関数は小児科定点15、内科定点8、眼科定点2、性感染症定点1、基幹定点2となっています。

出典 感染症発生動向調査週報（東京都感染症情報センター）

新型コロナウイルス感染症に対する西東京市の取組

～感染症の流行期に備え、一人ひとりが感染予防の徹底を～

「人」のいのち・健康を守る



- 引き続き、市内医療機関と連携した体制づくりに努めます。
- 公表された感染に関する情報をわかりやすく市民の皆様にお伝えします。
- 感染症の流行期に備え、インフルエンザ予防をはじめとする感染予防対策を実施します。
- 高齢者や障害のある方のいのちを最優先に関係施設でのPCR検査の実施に要する費用について補助制度を設けます。

「まち」を健康に 日常を取り戻す



- 基本的な感染対策（3密・換気・マスク・手洗い・消毒）の徹底を図ることを目的に、感染症予防対策に関する普及啓発映像を作成し、多くの方々に感染対策を呼び掛け、「まち（地域）」全体の「健康」を守ります。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



感染リスクが高まる「5つの場面」

【場面1】 飲酒を伴う懇親会等

- ・飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- ・特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- ・また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。

【場面2】大人数や長時間におよぶ飲食

- ・長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- ・大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。

【場面3】マスクなしでの会話

- ・マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- ・マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- ・車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。

【場面4】狭い空間での共同生活

- ・狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- ・寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。

【場面5】居場所の切り替わり

- ・仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- ・休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

新型コロナウイルス接触確認アプリ（略称 COCOA）は、インストール済みですか？

新型コロナウイルス接触確認アプリのインストールをお願いします

自分をまもり、大切な人をまもり、
地域と社会をまもるために、
接触確認アプリをインストールしましょう。

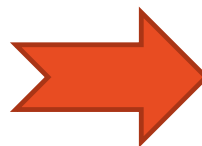
厚生労働省
**新型コロナウイルス
接触確認アプリ**
(略称：COCOA)
COVID-19 Contact Confirming Application

接触確認アプリは、新型コロナウイルス感染症の
感染者と接触した可能性について、通知を受け取
ることができる、スマートフォンのアプリです

*画面イメージ



陽性者との接触が
確認されると、
このようなお知らせが来ます



← 過去14日間の接触

!

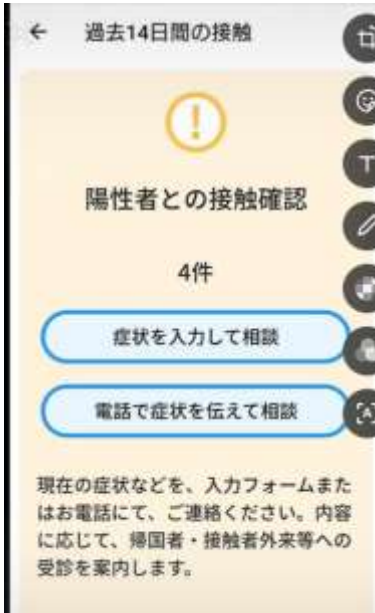
陽性者との接触確認

4件

症状を入力して相談

電話で症状を伝えて相談

現在の症状などを、入力フォームまたはお電話にて、ご連絡ください。内容に応じて、帰国者・接触者外来等への受診を案内します。



以下の日に陽性者との接触が確認されました。

2020年8月1日

1個



Google Play



App Store



新型コロナウイルス感染症に対する西東京市の取組等に関する意見交換のほか、コロナ禍において地域の住民が主体的に行った避難所開設訓練の様子を都知事に報告いたしました。



東京都知事と区市町村長との意見交換（令和2年10月16日 東京都庁にて）

西東京市における 新たな取組

～新たな感染期における 今後の市の取組み～

「人」のいのち・健康を守る

補正予算（9号）のポイント

12月定例会 補正予算（9号）提案予定

◆ 新型コロナウイルス感染症対策・高齢者施設等PCR検査等経費支援事業

予算額 1億4,826万円

東京都補助事業 10/10

高齢者施設等の重症化するリスクの高い者の集団で形成される施設等に対し、積極的にPCR検査等を行うことで、感染者の発生を把握し、早期の措置を講じることにより、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止を図ることを目的とします。

1 対象施設等

（高齢分野）

市内の認知症高齢者グループホーム、短期入所（ショートステイ）、通所施設、特定施設入居者生活介護の介護保険サービスを行う事業所・施設並びに軽費老人ホーム及び養護老人ホーム

（障害分野）

市内のグループホーム、短期入所（ショートステイ）及び通所施設並びに日中一時支援事業所

2 対象者（約7,300人）

ア 施設又は事業所の職員（高齢分野 118/障害分野 70施設・事業所）

イ 入所者又は利用者

3 予算規模

対象 約7,300人に対し、1検査につき 2万円の補助



◆ 新型コロナウイルス感染症対策 在宅要介護者受入体制整備事業

予算額 783万円

東京都補助事業 10/10

在宅で高齢者・障害者を介護する家族等が新型コロナウイルス感染症に罹患した場合においても、介護を受ける方が、住み慣れた地域で生活の継続ができ、罹患した家族等が安心して療養に専念できる環境を整えるため、介護を受ける方が緊急一時的に利用できる施設等の確保など、受け入れ体制を整備します。

- ◆ 介護施設等に対する空床確保
- ◆ 在宅支援のためのヘルパー派遣等



～感染リスクを正しく理解し、
基本的な感染防止対策を皆で行いましょう～



12月定例会 補正予算（9号）提案予定

◆ 新型コロナウイルス感染症対策普及啓発に関する映像配信等事業

予算額 191万円

東京都補助事業 10/10

新型コロナウイルス感染症に係る正しい知識や対応方法等の普及啓発を行い、感染の拡大防止を図ることを目的に、感染症拡大防止を啓発する映像の作成を行います。

また、感染症対策に尽力いただいている医療関係者等をゲストに招き、普及啓発を内容としたラジオ番組を編集し、放送します。地域医療や介護活動に対する理解を深め、地域全体で感染予防に努めることを目的とします。



～地方創生推進交付金事業により整備された田無駅北口商業施設に設置された大型LEDビジョン・ラジオ放送ブース

👉 市民の方々からのメッセージや

地域で行われている感染予防対策を取材します。



これまでの主な取組・支援等 実績報告

特別定額給付金 給付実績報告

予算額 208億1,356万円

5月8日 補正予算（1号）可決

●特別定額給付金概要

「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」（令和2年4月20日閣議決定）において、「新型インフルエンザ等対策特別措置法の緊急事態宣言の下、生活の維持に必要な場合を除き、外出を自粛し、人と人との接触を最大限削減する必要がある。医療現場をはじめとして全国各地のあらゆる現場で取り組んでおられる方々への敬意と感謝の気持ちを持ち、人々が連帯して一致団結し、見えざる敵との闘いという国難を克服しなければならない」と示され、このため、感染拡大防止に留意しつつ、簡素な仕組みで迅速かつ的確に家計への支援を行うこととされました。

10月末日現在 給付実績

対象世帯数	支給済世帯数	支給済額	支給率（%）
100,166	99,500	205億2,450万円	99.34

10月末日時点

※すでに申請手続は、終了しています。

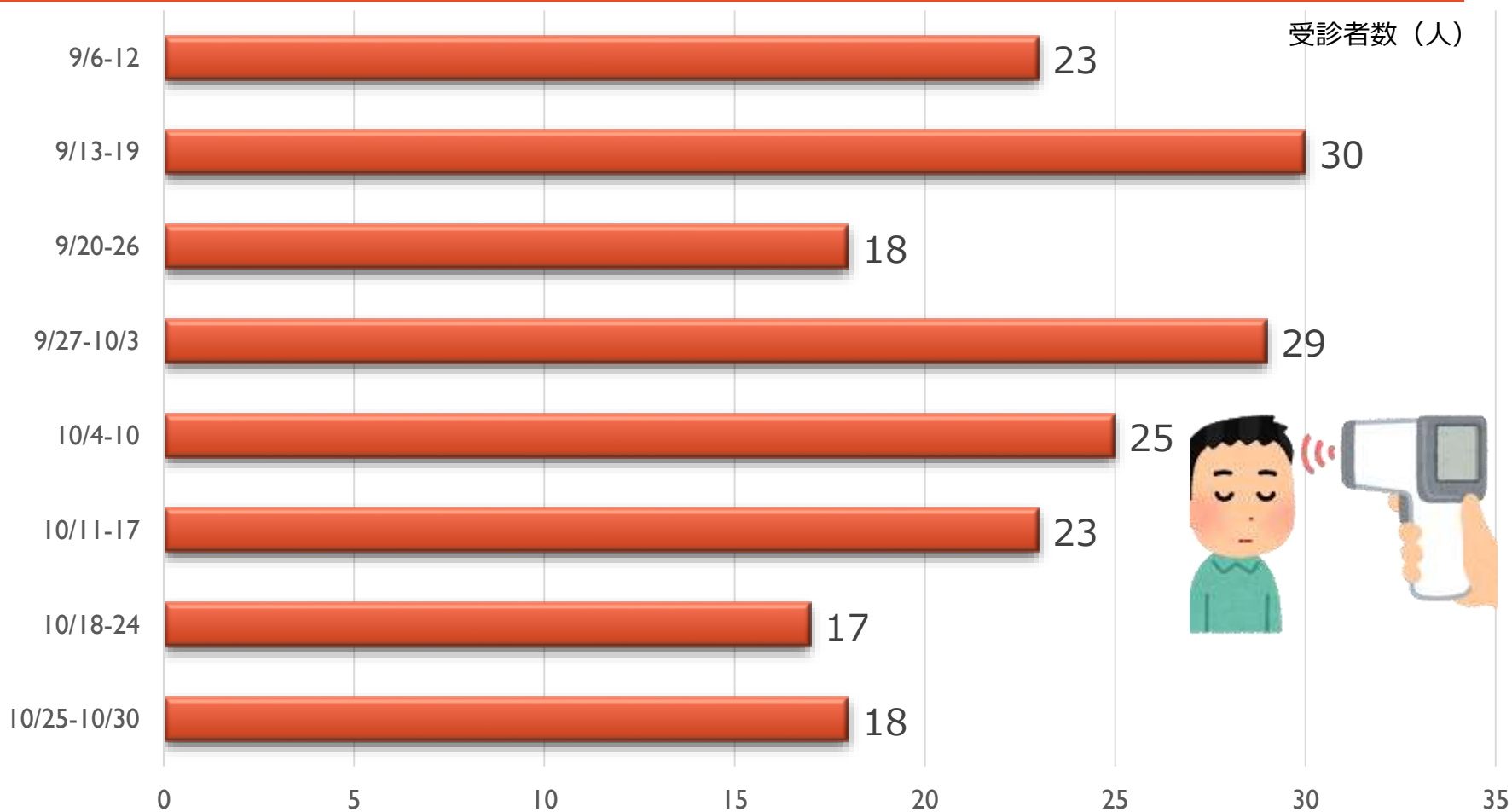


西東京市では、特別定額給付金の給付のための特別チームを編成し、対応してまいりました。

申請が困難な方で、お申し出のあった方々に対しましては、職員が遠方まで出向き、申請手続の支援をいたしました。

西東京市医師会 発熱外来受診状況

～令和2年4月に西東京市医師会が市内医療機関に開設した発熱外来の受診状況です～



※ 9月6日以降の受診者数を集計しました

西東京市の取組 ～市内中小事業者への支援～

●賃貸店舗等家賃補助事業の創設 予算額 **3億9,466万円**

5月22日 補正予算（2号）可決
6月23日 補正予算（5号）可決

新型コロナウイルス感染防止のための外出自粛により2月以降の早い時期から大幅に売り上げが減少し、かつ賃貸店舗の家賃支払いが大きな負担となっている飲食・サービス業などの市内中小企業・個人事業主の方に対する負担軽減及び事業継続の支援を目的に、緊急経済対策として制度を創設しました。

- 1店舗 **30万円**（家賃補助）
（1,300店舗想定 3億9,000万円）
- その他事務経費 465万9,000円

令和2年10月末日現在 実績

申請期間	支給実績
6月5日から9月30日まで	1,002件 執行額 3億60万円



● 市内事業者応援資金助成事業の創設

予算額 1億704万円

6月3日 補正予算（3号）可決

緊急事態宣言の発令等により、外出の自粛及び休業要請などの影響で売上げが減少するとともに、国の持続化給付金の対象とならず、家賃や人件費等の固定費の支払いが負担となっている市内中小企業・個人事業主の方に対する負担軽減及び事業継続の支援を目的に、緊急経済対策として制度を創設しました。

- 1事業者 **20万円**
(500事業者想定 1億円)
- その他事務経費 704万円

令和2年10月末日現在 実績

申請期間

支給実績

7月3日から9月30日まで

274件
執行額 **5,480万円**



西東京市の新たな取組・支援策

～コロナ禍での健康づくりを応援します～

令和2年11月2日 西東京市健康ポイントアプリ「あるこ」リリース開始

7月31日 補正予算（6号）可決

予算額 986万円

◆ 健康増進ポイントアプリ事業の実施

健康ポイントアプリ



新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、「新しい生活様式」が求められる中、西東京市では、「歩く」ことを中心に、日常の中で健康づくりを行うことができるアプリ「あるこ」をリリースいたしました。

歩くことや、エクササイズをすることでポイントが貯まるアプリです。

毎月1,000ポイントを貯めると抽選に参加できます。



プレゼントは、18歳以上の西東京市民の方に限りです。

11月、12月はAmazonギフト券1,000円分が抽選で毎月50名様に当たります。